

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
平成11年5月6日

第5報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	5300		
(黄鞭) <i>Pseudokephyrion</i> sp.	20		
(黄鞭) <i>Chromulina</i> sp.	20		
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	30		
(珪) <i>Melosira varians</i>	13		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	62		
(珪) <i>Melosira granulata</i> var. <i>angustissima</i> f. <i>spiralis</i>	10		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	90		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	160		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	70		
(珪) <i>Synedra acus</i>	3		
(珪) <i>Cymbella ventricosa</i>	10		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	180		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	240		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	10		
(緑) <i>Dictyosphaerium</i> sp.	160		
(緑) <i>Ankistrodesmus falcatus</i> var. <i>mirabile</i>	10		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	5370	84.1	69.7
(珪) 珪藻綱	418	6.5	12.4
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	420	6.6	17.5
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	180	2.8	0.4
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	6388	総体積	1.99E+06
種 類 数	17	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

動物プランクトン

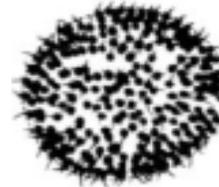
第 1 優 占 種		個体数 (個体/l)
輪虫類	<i>Synchaeta oblonga</i>	1200

第 2 優 占 種		個体数 (個体/l)
輪虫類	<i>Polyarthra vulgaris</i>	160

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

植物プランクトン第1優占種

Uroglena americana
(ウログレナ)
黄色鞭毛藻類



楕円形の細胞が球状の寒天質の表層に規則正しく配列し、球状の群体を形成する。各細胞は不等長の2本の鞭毛を有する。

動物プランクトン第1優占種

Synchaeta oblonga
(ナガマルドロワムシ)
輪虫類



体は円錐形で足は短く、先端の爪は微小である。体長は225~345 μm 、体側は縦の条線があるのが特徴である。

コメント: 淡水赤潮の原因となる黄色鞭毛藻のウログレナが5300細胞/ml観察されたが、これは平成9,10年度の5月第1週の細胞数(各々4800細胞/mlおよび3500細胞/ml)とほぼ同様の値であり、過去2年と立ち上がり傾向が類似している。動物プランクトンは、ワムシ類のナガマルドロワムシが1200個体/lと多く、次いでハネウデワムシが160個体/lと多かった。